

CentreCOM AR260S 設定例

PPPoE による端末型インターネット接続(スタティック ENAT によるサーバー公開)

PPPoEを使ってインターネットサービスプロバイダー(以下 ISP)に接続します。「ブロードバンド」 系サービスプロバイダーの中には、ベストエフォート型ながらも、常時接続の性質を活かして IP アド レスを1個固定的に割り当てるサービスが見られます。このようなサービスを利用すると、接続形態 は端末型でも、固定アドレスの利点を活かしてサーバーの公開や VPN の構築が容易になります。この 例では、ダイナミック ENAT で1個のアドレスを共用し、ファイアウォールで外部からの不正アクセス を防止しつつ、スタティック ENAT を利用して Web サーバーを外部に公開します。また、LAN 側クライ アントの設定を簡単にするため、DNS リレーと DHCP サーバーも利用します。

ISP からは次の情報を提供されているものとします。

表	1	:	ISP	から	5提供	され	た情報
---	---	---	------------	----	-----	----	-----

PPP ユーザー名	user@isp
PPP パスワード	isppasswd
PPPoE サービス名	指定なし
IP アドレス	12.34.56.78/32(固定)
DNS サーバー	12.34.11.11、12.34.11.22

ルーターには、次のような方針で設定を行います。

- ファイアウォールを利用して、外部からの不正アクセスを遮断しつつ、内部からは自由にイン ターネットへのアクセスができるようにします。
- ファイアウォールのダイナミック ENAT 機能(IP マスカレード)を利用して、LAN 側ネットワークのプライベート IP アドレスを、ISP から与えられたグローバル IP アドレスに変換します。これにより、LAN に接続された複数のコンピューターからインターネットへの同時アクセスが可能になります。
- ファイアウォールのスタティック ENAT 機能を利用して、ルーター(12.34.56.78)の 80 番ポートに送られてきた TCP パケットを LAN 側の Web サーバー(192.168.10.5)に転送します(ポートフォワーディング)。これにより、グローバル IP アドレスが1 個であっても、サーバーを外部に公開することができます。



- ルーターの DNS リレー機能をオンにして、LAN 側コンピューターからの DNS リクエストを、ISP の DNS サーバーに転送します。上記 DHCP サーバーの設定により、LAN 側コンピューターに対し ては、DNS サーバーアドレスとしてルーター自身の IP アドレスを教えます。
- ルーターを DHCP サーバーとして動作させ、LAN に接続されたコンピューターに IP アドレス、 サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーアドレスの情報を提供します。

以下、ルーターの基本設定と DHCP サーバーの設定についてまとめます。

表 2:ルーターの基本設定

WAN 側(PPPoEO)IP アドレス	12.34.56.78/32(固定)
LAN 側 IP アドレス	192.168.10.1/24
DHCP サーバー機能	有効
DNS リレー機能	有効

表 3: ルーターの DHCP サーバーの設定

リース期限	10(時間)
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
プライマリ DNS サーバー	192.168.10.1
IP アドレスプール	192.168.10.100~192.168.10.130(32個)



AR Series Configuration Example



図1 ネットワーク構成図

ルーターの設定

1.メニューから「LAN」 「LAN」の順にクリックし、LAN側 IP アドレスの設定を行います。

	LAN側IP設定	
IPアドレス	192.168.10.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
	(通用)	(ヘルフ)

以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。端末の IP アドレスを 192.168.10.100 など変更後のアドレスにあわせて設定し、変更後の AR260S の IP アドレス (192.168.10.1)に接続し直して下さい。

1	LANI側IPアドレスまたはサブネットマスクが変更されています。変更後のLANI側IPアドレスで再接続して(ださ
_	



2.メニューから「LAN」 「DHCP」の順にクリックします。「IP アドレスプール」「リース時間」「デ フォルトゲートウェイ」「DNS サーバー」の値を設定します。

	DHCPサーバー設定
IPアドレスプール	始点IPアドレス 192.168.10.100 終点IPアドレス 192.168.10.130
サブネットマスク	255.255.255.0
リース期限	00:10:00 (dd 日: hh 時間: mm 分)
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
プライマリDNSサーバー	192.168.10.1 (オブション)
セカンダリDNSサーバー	(オブション)
ブライマリWINSサーバー	(オブション)
セカンダリWINSサーバー	(オブション)
	(適用) (ヘルプ)

3.メニューから「WAN」 「WAN」の順にクリックします。セッション ID: PPPoEO を選択し、インター ネット接続の設定を行います。また、DNS サーバーのアドレスを固定に設定します。

WAN 側 IP は固定ですが、AR260S では WAN 側 IP を設定する項目はありません。WAN 側 IP を固定で 取得している場合でも、ISP からグローバル IP を PPPoE 接続時に取得することが可能です。グロー バル IP 固定の契約の場合には、常に同じグローバル IP が振られてきます。

		WANEDGE
接続モード	PPPoE 💌	
セッションID	PPPoE:0 • 接級	8
デフォルトゲートウェイ	PPPoE:0 -	
Unnumbered PPPoE	C有効 6 無効	
ホスト名	AR260S	(オブション)
ユーザー名	user@isp	
バスワード	J	
サービス名		(オプション)
AC(アクセスコンセントレーター)名		(オプション)
DNSオプション	・固定設定 0 自	動取得
ブライマリDNSサーバー	12.34.11.11	(オブション)
セカンダリDNSサーバー	12.34.11.22	(オプション)
MSSクランプ	○無効 ●有効 MSSの値: 40	Bytes
接続オプション	 ○ ダイアルオンデ エコー送信問題 	マンド © キーブアライブ ○ 無効 D 秒
		適用 ヘルプ



AR Series Configuration Example

 4.メニューから「ファイアウォール」 「Inbound アクセス」の順にクリックします。ルーターの WAN 側インターフェース PPPoEO(12.34.56.78)の 80 番(HTTP)ポート宛に送られた TCP パケットを LAN 側の Web サーバー(192.168.10.5)に転送するスタティック ENAT の設定を行います。

	l	nboundアク1	セス制御設定		
ID 1 アクション	通過 💌	優先度 1 🖸]		
送信元	タイプ 全て				
宛先	タイブ IPアドレス	IPアドレス 💌 12.34.56.78			
送信元ポート	タイプ 全て				
宛先ポート	タイブ ポート番号	ボート指定 💌 80			
ブロトコル	TCP 💌				
NAT	「IPアドレス IPアドレス	92.168.10.5			
ログ	○有効 ⊙	無効			
VPN	○有効 ④	無効			
		ii ii la statistica de	変更(削除)		(ヘルプ)
	li	iboundアクt	2ス制御リスト		
D 送信元 ✔ 面 1 全て	宛先 12.34.56.	78	ブロトコル TCP,全て,80	NAT 192.168.10.5	アクション 通過

WAN 側 IP が不定の場合は「宛先」 「タイプ」を「全て」にしてください。

「宛先ポート」指定にて、サービスでも HTTP (TCP80 番)を指定することができます。

	Inboundアクセス制御設定
ID 1 アクション	通過 💌 優先度 1 💌
送信元	タイプ 全て 💌
宛先	タイプ 全て 💌
送信元ボート	タイプ 全て 💽
宛先ボート	タイプ サービス • サービス HTTP •
NAT	IPアドレス IP2.168.10.5
ログ	○有効 ⑥無効
VPN	C 有効 € 無効
	追加 変更 削除 ヘルプ



5. メニューから「システム管理」 「サービスの有効 / 無効」の順にクリックします。「ファイアウ ォール」「DNS リレー」「DHCP」を有効にします。(これらの機能はデフォルトで有効になっており ます。)

ファイアウォール	● 有効 C 無効	
VPN	C 有効 @ 無効	
DNSUL-	● 有効 ○ 無効	
DHCP	● 有効 ○ 無効	
SNTP	○ 有効 ● 無効	
リセットスイッチによる初期化	● 有効 ● 無効	

<u>メモ</u>

1.メニューから「ファイアウォール」 「統計情報」の順にクリックします。ファイアウォールのコ ネクション情報を確認することができます。以下の情報では、INTERNET 側(WAN 側)からのアクセ スに関する情報が出力されています。

	Active Connections									
Source Network	Protoco	Source IP-Port	Destination IP-Port	NAT IP-Port	Life (Secs)	Bytes Out	Bytes In			
LAN	UDP	192.168.10.101 - 1048	192.168.10.1 - 53	0.0.0.0 - 0	48	0	0			
LAN	тср	192.168.10.101 - 1230	192.168.10.1 - 80	0.0.0.0 - 0	20	0	0			
LAN	ТСР	192.168.10.101 - 1231	192.168.10.1 - 80	0.0.0.0 - 0	20	0	0			
LAN	тср	192.168.10.101 - 1229	192.168.10.1 - 80	0.0.0.0 - 0	20	0	0			
LAN	TCP	192.168.10.101 - 1232	192.168.10.1 - 80	0.0.0.0 - 0	600	0	0			
Internet	TCP	20.20.20.100 - 1210	12.34.56.78 - 80	192.168.10.5 - 80	528	55912	2643			
Internet	TCP	20.20.20.100 - 1211	12.34.56.78 - 80	192.168.10.5 - 80	528	15198	1662			
Internet	TCP	20.20.20.100 - 1209	12.34.56.78 - 80	192.168.10.5 - 80	324	0	0			
Local	UDP	12.34.56.78 - 1024	12.34.11.22 - 53	0.0.0.0 - 0	48	0	0			
Local	UDP	12.34.56.78 - 1024	12.34.11.11 - 53	0.0.0.0 - 0	48	0	0			
Local	ICMP	192.168.10.1 - 37028	192.168.10.101 - 37028	0.0.0.0 - 0	36	0	0			
Total Connections Count										
	TCP	L	JDP	ICMP		Others				
	7		3	1		0				
(更新)										

更新日 2005 年 06 月 08 日